
幸せ太り

唐務新斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幸せ太り

【Nコード】

N0092P

【作者名】

唐務新斗

【あらすじ】

最近太り気味の友人が言うには、彼氏の料理が美味くて堪らないかららしい。

「ねえ、友里恵。なんかいいダイエット方法ないかなあ」

呼びかけられて、声の主の方へ視線を向ける。一美は床に寝そべり、気だるげに雑誌のページを捲りながら頬杖について、深々とため息をついていた。

「ダイエット、ねえ」

私はさっき買ってきたばかりの『毎日五分で痩せる腹筋体操』のページと、彼女の顔を見返した。

「腹筋は？」

「それ、しんどいよー」

予想された返事だった。なぜって、それはたった今本を読んでいる最中の私が抱いた感想でもあったからだ。

「じゃあさ、その『痩せるゼロカロリーゼリー三食セット』はどうなの？」

一美が開いている雑誌のページにでかでかと掲載されている広告を指差すと、

「却下」

とこれまた一刀両断。ああ、お値段見て納得。ちよつと0の数が多すぎる。

「やっぱさあ、さすがに最近やばいと思うんだよね。メタボよメタボ」

確かに最近の一美の体型は、やや丸く、そして厚みも出てきている。人のことは言えないかもしれないが、それでも一ヶ月前の一美と比べると明らかに丸いのは間違いない。

「最近、彼が持ってきてくれる料理がおいしくっておいしくって、ついつい食べ過ぎちゃうんだよね」

「え、一美、彼氏できたの！」

それは寝耳に水だ。驚く私の顔を見て、一美は勝ち誇ったように

微笑み、

「今日は友里恵にもご馳走してあげるわ」

勝者の賞禄を漂わせながら、携帯電話を手を取った。

そして、席を外す。さすがに恋人との甘ったるい二人だけの会話を友人の前で繰り広げないという配慮はあるようだ。

「待っててね。本当においしいから。楽しみにしてて！」

思ったより早く部屋に戻ってきた一美は満面の笑みを浮かべて胸を張った。

そして三十分後。

どこのホストかと見紛うばかりのイケメンのお兄さんが満面の笑みを浮かべて現れた。

「お待たせしました。特製ハムバーコンチーズスペシャルピザです！ 四千円お願いしますっ」

（後書き）

メタボって響きは可愛いですね。響きは。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0092p/>

幸せ太り

2010年11月19日22時47分発行